



ALPS

CAREER

>>> 仕事

公務員のための セルフブランディング

キャリアの「もやもや」を抱えるあなたへ

「このままでいいのだろうか?」「会社を離れたら、自分には何が残るのだろうか?」「将来、どんな働き方をしていきたいのだろうか?」。もし今、ご自身のキャリアに漠然とした不安を感じているなら、この記事が、その霧を晴らすための一つの視点を提供するものになれば幸いです。仕事への不満や将来への不安は、多くの方が抱える共通の悩みです。筆者自身も同様の不安を抱えた経験がありますが、セルフブランディングという考え方に触れたことが、キャリアを見つめ直す一つのきっかけとなりました。

なぜ今、セルフブランディングが注目されるのか?

AIの進化、働き方の多様化、グローバル競争の激化など、働く環境は目覚ましいスピードで変化しています。終身雇用や年功序列といった価値観が揺らぐ現代におい

組織の看板に頼りすぎない自律化の時代

て、組織の看板に頼るだけでは、この激変に対応しきれないと感じる人も少なくないでしょう。公務員という仕事は、組織の信頼性や安定性が大きな強みです。しかし、刻々と変化する住民ニーズに質の高い行政サービスで応えるためには、個人の能力や専門性を明確に発揮することが不可欠です。こうした不確実な時代だからこそ、「セルフブランディング」の重要性は増しています。自身の本質的な強みや価値観を明確にし、それを自然体で伝えること。それが変化に適応し、自分らしいキャリアを築く確かな指針となるのです。セルフブランディングは、現代において有効なキャリア形成の考え方の一つです。

かつて私も、時代の変化の中で「個」の力を一層意識する必要があると強く感じていました。「会社の看板がなくなったら、自分には何が残るのだろうか」という漠然とした



ワークライフファシリテーター協会
会員・講師／
セルフブランディング研究家
有蘭 一男

〔ありぞの・いちお〕国家資格キャリアコンサルタント、長野県立大学学生キャリア支援セミナー講師、フリーランス協会キャリアアドバイザー。

不安を抱き、「自分の本当の強み」に確信が持てない時期があったのです。

組織の名前や役職は、確かに信頼性や専門性を示す大きな要素となり得ます。しかし、キャリアの選択肢が広がり、副業や転職、独立が当たり前になりつつある今、「組織ありき」のキャリアプランだけでは限界があります。

だからこそ今、ご自身の「強み」を客観的に見つめ直し、磨き上げることが不可欠です。自身のキャリアを組織や環境に委ねず、主体的にデザインしていく上で、セルフブランディングは間違いなく有効な第一歩となるでしょう。特に公務員の皆さんにおいては、個人の専門性を明確にすることで、住民からの信頼を深め、より質の高い公共サービスへとつながるため、この自律的な視点が極めて重要となります。

セルフブランディングの核心とは?

では、「セルフブランディング」とは具体



【図表】セルフブランディングの実践

セルフブランディング…自分が持つ独自の強みや価値観を明確にし、それを相手に効果的かつ自然体に伝え、信頼と共感を築くための技術

STEP 1

「自己理解」のためキャリア資産の棚卸しをする

これまでの経験、スキル、知識、性格や価値観、情熱など、キャリア形成に役立つすべてを棚卸しする

・ 広報担当のCさん…定型情報だけでなく、市民に合わせた分かりやすい説明や丁寧な対応により、「自治体広報の顔」として信頼されます。Cさんの親しみやすい人柄が、

・ 専門職（IT担当）のBさん…高度な技術力を庁内外に適切に伝えることで、専門家として認識され、貢献機会が増えます。Bさんの専門性がデジタル化を加速させ、組織全体のITプロジェクト推進に大きく寄与します。

STEP 2

「他者理解」

「誰に、どのように伝えるか」を具体的に考える

的に何を指すのでしょうか？それは、あなたが持つ独自の強みや価値観を明確にし、それを相手に効果的かつ自然体で伝え、信頼と共感を築くための技術です。

私たちは日々の仕事や人間関係の中で常に「自分」を表現していますが、セルフブランディングは、この自己表現を「意図的」かつ「戦略的」に行い、あなたの真の価値を最大限に引き出し、周囲に適切に認識されることを目指します。

セルフブランディングは、個人のキャリアに良い影響を与えるにとどまらず、所属する組織全体のパフォーマンスにも大きく貢献すると考えられます。例えば公務員の職場で、こんな場面を想像してみてください。

・ 窓口担当のAさん…正確な情報提供に加え、住民から信頼される誠実な対応で円滑な行政サービスに貢献します。住民がAさんに親身な相談と的確な案内を期待するようになることで、安心して利用できる関係が築かれます。

自治体と市民の距離を縮める役割を果たします。

職種や立場に関わらず、「あなただから頼みたい」「あなたと働きたい」と思われる存在になること。これは個人の評価向上だけでなく、所属チームや組織全体のパフォーマンスにも大きく貢献します。個々の強みが明確になり、役割分担と協力的体制がスムーズになることで、適材適所の人材配置が進み、プロジェクトの成功率が高まります。職員のモチベーション向上は、組織全体の士気と生産性を高めることにつながるでしょう。

未来を切り拓く セルフブランディング実践ガイド

これまでの説明で、セルフブランディングが個人と組織にどんな可能性をもたらすか、具体的なイメージが湧いてきたのではないのでしょうか。では、実際にあなたらしい価値を育み、未来をデザインしていくためには、どう進めれば良いのでしょうか？大切なのは、あなたのキャリアを導く確かな軸となる本質的な強みや価値観を見つけ、それを丁寧に育み、自然体で伝えていくことです。その鍵となるのが、「自己理解」と「他者理解」です【図表】。

ステップ① あなたのキャリア資産を棚卸し

まずは、あなた自身の「キャリア資産」をじっくりと棚卸してみましよう。キャリア資産とは、これまでの経験、スキル、知識

そしてあなたの性格や価値観、情熱など、キャリア形成に役立つすべてを指す言葉です。

① ハードスキル：特定の業務を進めるのに必要な専門知識や技術です（例…語学力、ITスキル、特定の業界知識、各種資格、高度なプログラミングスキル、特定の業界資格など）。これらは数値で測れるものであり、常に新しい情報にアップデートしていく必要があります（例…最新のデータ分析ツールを習得する、法改正に対応する専門知識を深めるなど）。

② ソフトスキル：他の人との円滑な関係を築いたり、効果的に協力したりすることを可能にする、あなたの個人的な資質や対人能力に関わる強みです（例…コミュニケーション能力、問題解決能力、リーダーシップ、共感力、粘り強さ、傾聴力など）。これらは時代に左右されにくく、あなたならではの「らしさ」を支える土台となるでしょう。

③ 「ワクワク」の源泉：仕事に対する内面的な動機を具体的な言葉にすることで「どんな時に仕事で『心から楽しい』『やりがいがある』と感じましたか？」「どんな瞬間に情熱が湧きましたか？」といった質問を通し、「ワクワク」の源泉を探っていきます。「ワクワク」の源泉は、自分のキャリアにおける本質的な軸を見つける上で、重要なヒントとなるでしょう。

これらのスキルや経験を「掛け合わせる」

ことで、あなたの専門性は飛躍的に高まります。例えば、特定の法規知識に住民への分かりやすい説明力や関係部署との調整力を組み合わせれば、「住民の困り事を解決する頼れる専門家」として、庁内外から厚い信頼を得るブランドを確立できるでしょう。このように複数の強みを組み合わせることが、公務員としての貢献価値を高め、専門性を深めることにつながります。

自己理解は、「ありたい自分」を目指すための、大切な第一歩です。そのため、自己分析により「Wii（どうありたいか）」を明確にすることは、仕事や環境の変化に対応し、自身の役割に深い意味を見出す上で不可欠となります。

ステップ② 他者理解と信頼構築

自己分析で強みや価値観を明確にしたら、次はそれを「誰に、どのように伝えるか」を具体的に考えることが重要です。セルフブランディングは、他者との関わりを通して信頼と価値を築くコミュニケーション活動であり、メッセージを届きたい相手（ターゲット）を明確にすることが、その効果を大きく左右します。

例えば、特定の政策を進める際には、その影響を受ける住民の方々、関係部署の職員、議会の議員、または協力団体など、それぞれの立場や関心に合わせた伝え方や、適切な情報提供のチャネルを選ぶことが不可欠です。相手が何を求めているのか、どのような情報に関心があるのかを理解する

ことで、より心に響くメッセージを発信し、関係性を深めることへとつながるでしょう。

このように信頼関係を築くには、関わる人々（住民、同僚、上司、関係機関など）が何を求め、どのような課題を抱えているかを深く理解する努力が不可欠であり、提供する価値が相手のニーズに合致して初めて、その価値は十分に伝わるからです。

あなたの価値を伝えるには、質の高いコミュニケーションが欠かせません。自分の意見を率直に伝え、相手の意見をよく聞き、適切に自己開示することで、心理的安全性のある関係を築き、真摯な姿勢を示すことができるでしょう。

セルフブランディングは、理想の自分を演じることではありません。無理に理想を演じすぎると、かえって不自信につながる可能性もあります。自分の強みだけでなく、時には弱みも受け入れ、自然体でいること。これが、時間をかけて人々の心にあなたのブランドを築く上で不可欠なのです。ブランドは、他者の心に息づく感情であり、丁寧に育むことで確立されるものなのです。

セルフブランディングが拓く、未来を創造する力

セルフブランディングは、私に自己成長と貴重な人とのつながりをもたらしました。実践を通じて、深い学びと業務課題解決能力の向上を実感し、異なる分野のプロフェッショナルとの協働が、一人では成し得ない革新的な解決策を生み出すことを確信しました。

セルフブランディングは、個人の評価が向上するにとどまらず、自身の「Wii」を明確にし、志を同じくする人々と協力して、より大きな価値を創造することを可能にしてくれます。皆さんのキャリアにおいても、志を同じくする人々との協力という強固なネットワークは、部署や組織の枠を超え、新たな課題解決のヒントや困難を乗り越える知恵と勇気を与えてくれるでしょう。

実際に、私たちが情熱を注いだセルフブランディング勉強会の講座コンテンツが人材会社採用され、期待を上回る成果を生み出しました。この経験は、セルフブランディングが個人の可能性を広げるだけでなく、具体的な社会的価値を創造し、形にする力を持つことの揺るぎない証拠です。

あなたの中に眠る可能性を活かし、自分らしいキャリアを実現するための一歩を、ここから始めてみてはいかがでしょうか。その一歩が、想像を超える充実したキャリアと、真の自己実現へとあなたを導くきっかけになるかもしれません。

まずは、今日の仕事の中から、あなたの「ワクワク」を見つける小さな一歩を踏み出してみませんか？ 自分の強みを書き出す、職場でロールモデルを見つける、あるいは興味のある勉強会に参加するなど、できることはたくさんあります。変化を恐れず、自信を持って未来を創造していくあなたの姿を、心から応援しています。